

やまゆりポーク生産者協議会の食育授業行われる

やまゆりポーク生産者協議会では、各会員が経営活動を行っている地域の市と協力し、給食用豚肉の寄贈、寄贈した豚肉のメニューによるふれあい給食、会員自らの食育授業を行っています。畜産技術センターでは、食育授業の中で県や各自治体の畜産の情勢についての授業を担当しています。

11月19日（火）には、相模原市緑区内の小学校で全校生徒27名を対象に、生産者が食育授業を行いました。対象となった小学校は、先の台風の被害を受け、別の市内施設で授業を行っており、食育の会場もそこに移動する等、大変な状況下での授業となりましたが、生徒たちは食育授業に熱心に耳を傾け、最後にはお礼の歌をプレゼントしてくれました。

やまゆりポークを使ったメニューは「しょうが焼き」で、生徒たちの評判も上々で、質問も交えながら生産者との楽しい給食となりました。

11月29日（金）には、藤沢市内の小学校5年生69名を対象として当所と生産者が食育授業を行いました。藤沢市も対象となった小学校も食育に熱心で、やまゆりポークの食育授業に加え、同日に地元酪農家を招き、バターづくり体験を実施しました。そこで、当所では従前のやまゆりポークの食育授業で行っていた養豚主体の内容から更に授業時間を増やして、県内の畜産についてもより詳しく授業を行いました。

その後の給食は、やまゆりポークを使用した「味噌カツ」で、こちらも生徒たちに大好評で、生産者や関係機関と楽しい給食のひとつを過ごしました。



相模原市内の小学校での授業風景



藤沢市内の小学校での授業風景